

令和6年度 学校関係者評価書

1 自己評価書（学校経営計画・自己評価書）全般について

入谷南中学校の開かれた学校づくり協議会として、以下のように評価をさせていただきました。

①学校教育目標、目指す学校像、生徒像、教師像について

- ・『自ら学ぶ』は、生徒によって大きな差がある。学ぶ生徒はどんどん学び、学ばない生徒との差が大きくなっている。ICT機器等を活用した対話的で協働的な授業を実施し、今後も意欲の向上に努めてほしい。また、主体的な学びに向かわせるために生き方指導に重点を置いたキャリア教育・生涯学習教育を行うカリキュラムを編成していったほしい。さらに、補充教室や宿題指導も充実させていったほしい。
- ・朝礼や学年集会・朝の学活・行事の事前指導などで集団生活するうえでのルール・マナーをその都度指導している。また、教員による登下校時の交通安全指導・挨拶指導・遅刻指導も継続している。徐々に指導の成果が出てきているが、なかなか定着していない部分もある。今後も学校でも細かく指導し、同時に家庭や地域とも連携して今後も温かく指導していったほしい。

2 学校から提示された「課題」や「保護者・地域への期待」について

これまでの課題が「学力の向上」であった。今年度も「学力の向上」としており、自己評価しているものを評価させていただきました。

①重点的な取組事項1「学力向上アクションプラン」について

- ・今年もすべての項目が「おおむね達成」できている。
- ・授業ではICTを積極的に活用している。また、ねらいと振り返りを明確にした授業展開（足立スタンダード）を徹底し、学力向上に効果を上げている。また、小中で連携したICT機器の活用方針（舎人スタンダード）も定着しつつある。情報モラルについても外部講師を招いて指導できている。
- ・サマースクールでは学力調査の結果を分析し、弱点を補う支援が来ている。生徒の指導に当たっては、教員や学習支援ボランティアを活用し、特に1年生の数学では入谷南中学校の全教員・学習ボランティアが参加して生徒一人にマンツーマン指導を行うことで学力向上の成果を上げた。
- ・放課後のパワーアップタイム（放課後補充教室）では各種コンテスト（スペリング・計算・漢字）の再チャレンジを実施し、全員が合格できるまでの徹底した粘り強い指導をおこなうことができた。

②重点的な取組事項2「生徒の豊かな心を育む：キャリア教育や体験的な活動を通しての自尊感情、自己肯定感の向上」について

- ・今年度は学校行事を通常通り実施した。今後もできるだけ多くの近隣小学校児童や保護者、地域住に案内を出して参観していただき、多くの方に入谷南中学校の教育活動を知っていただけるようにしてほしい。地域関係者として、これからも学校行事を支えていこうと思います。
- ・学校生活を通して、生徒に正しい経験を積ませてほしい。特に「あいさつ」では、97.1%の生徒が「先生や友達へ進んであいさつをしている」と回答している。3年生になるほどしっかりあいさつをしていると回答している。生徒会を中心に今後もあいさつの大切さを全校に広げる運動をしていったほしい。
- ・3年間を見通したキャリア教育の充実を図り、生徒たちが将来の夢や希望をもてるような活動の充実を図ってもらいたい。地域関係者として、そのための協力をしていきたい。

③重点的な取組事項3「小中連携・保護者や地域・外部との連携の深化：生徒の健全育成を目指した教育活動の充実」について

- ・今年も3年生の受験に向けての模擬面接に開かれた学校づくり協議会委員が関わったのでよかった。生徒にとって良い経験になり、受験での自信につながっていただければ良いと思います。
- ・今年度も、花いっぱい運動が多く実施され、開かれの委員と生徒さんとが一緒になって活動できて、豊かな心の育成に貢献できたと思います。来年度も生徒会と協力し実施していきたい。
- ・今後も地域に根ざした学校として地域の行事に生徒を積極的に参加させてほしい。教員の働き方改革があり、勤務日以外の出勤等が難しい面もあるが、生徒が地域の一員としての意識の醸成や社会貢献・自己の成長の機会とするために、保護者や地域の人材を活用してもらい、生徒の参加を促してほしい。